



技術評価書

申込者：共英製鋼株式会社 代表取締役社長 廣富 靖以
大阪市北区堂島浜一丁目4番16号 アクア堂島西館18階

技術名称： タフ定着工法 RC 構造設計指針(2022年)

技術概要： 本設計指針は、GBRC性能証明第00-06号改4(2011年1月24日)を取得後、柱主筋外定着方式および嵌合鋼線挿入方式を適用範囲に追加した設計指針(2012年)についてSABTEC技術評価12-02(2012年10月31日)を取得している。
SABTEC技術評価12-02R1(2013年9月20日)は、高強度鉄筋タフネジナットおよび柱主筋外定着を適用範囲に追加した本設計指針(2013年)について、SABTEC技術評価12-02R2(2014年3月17日)では、タフヘッド強度試験のロットの大きさを変更した本設計指針(2014年)について、SABTEC技術評価12-02R3(2017年4月25日)は、RC構造を適用対象とした「RC構造設計指針(2017年)」について、SABTEC技術評価12-02R4(2019年9月25日)は、定着金物の適用範囲に材質FCAD1200-2のタフネジナット(SD490/D19)を追加するとともに、2017年以降の使用実績を踏まえて改定した「RC構造設計指針(2019年)」について行われている。また、SABTEC技術評価12-02R5(2022年2月21日)は、アスペクト比 ≥ 1.3 のト形接合部のせん断設計などの規定を追加した「RC構造設計指針(2022年)」について行われている。

本委員会は、一般社団法人建築構造技術支援機構「建築構造技術検証要綱」で定めた技術基準と照らし合わせ、下記の通り、本技術は妥当なものであると判断した。

2022年2月21日



記

- 評価方法： 申込者提出の下記資料によって、技術評価を行った。
タフ定着工法 RC 構造設計指針(2022年)
これらの資料には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した技術資料がまとめられている。これらの資料のほかに、タフネジナット施工要領書および専門部会資料が提出されている。
- 評価内容： 申込者提案のタフネジナット、高強度タフネジナットおよびタフヘッドは、それぞれ鉄筋母材の規格引張強さに相当する荷重を受けても損傷せず、本工法設計指針によって設計されるタフネジナット、高強度タフネジナットおよびタフヘッドを用いた異形鉄筋定着部は、それぞれ設計で保証すべき長期荷重時、短期荷重時および終局耐力時の要求性能を満足すると判断される。